ロジクール G502 Heroの分解について

このガイドでは、修理や改修のためにマウスの内部部品を交換する準備として、ロジクール G502...

作成者: spslizer

はじめに

このガイドでは、修理や改修のためにマウスの内部部品を交換する準備として、ロジクールG502 Heroマウスを安全に分解する方法を説明します。

ツール:

スパッジャー (1)
iFixit開口ツール (1)
iFixit開口用ピック(6枚セット) (1)
Heat Gun (1)
A hairdryer also works
#0 プラスネジ ドライバー (1)

手順 1 — 始める前に...

- USBケーブルを邪魔にならないように、内蔵のベルクロケーブルタイで巻きつけます。

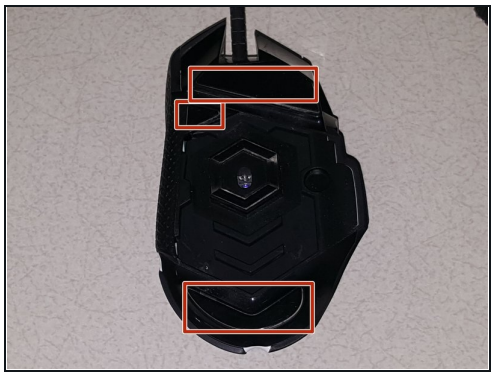
ⓘ ベルクロケーブルタイが破損または紛失している場合は、ツイストタイを使用すると便利です。

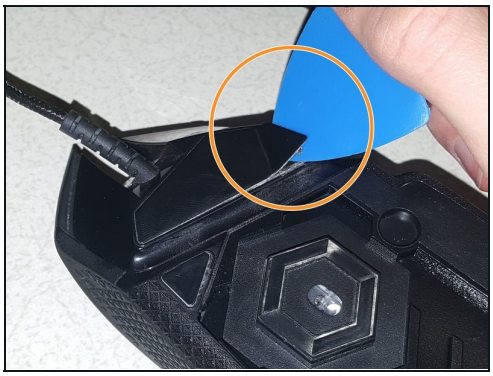
手順 2 — 底面カバーとウエイトを取り外す

- マウスの足を持ち上げて、マウス底面のウェイトカバーを取り外します。

ⓘ 必要に応じてチューニングウエイトを取り外すことができますが、分解する必要はありません。

手順 3 — マウスフィートを取り外す





- ヒートガン（弱に設定）を使って、マウスフィート3個をそれぞれ数秒間加熱します。
- オープニングピックをマウスフィートとその下の粘着剤の両方の下に滑らせます。

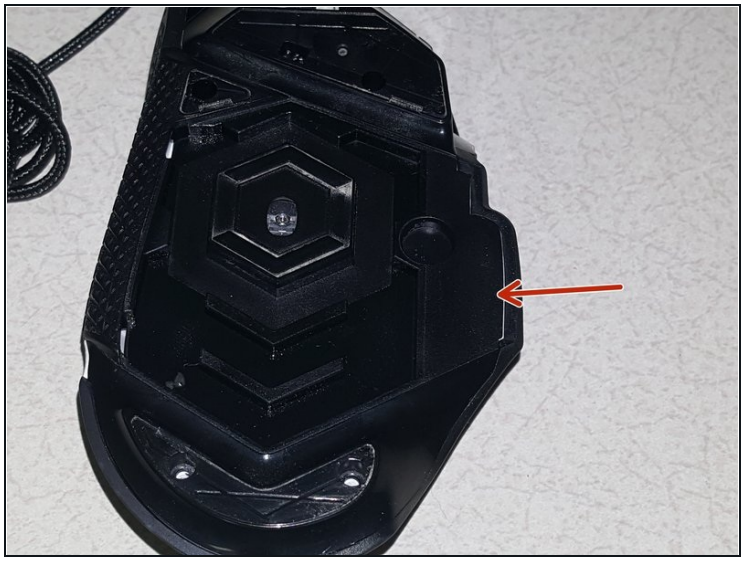
ⓘ 正しく行われた場合、粘着剤が付いたままマウスフィートをはがすことができるはずです。

ⓘ 接着剤が足と一緒に剥がれない場合は、スパッガーで削り取ることができます。

手順 4

- マウスの2つの部分を固定している4つのプラスネジを外します。

手順 5

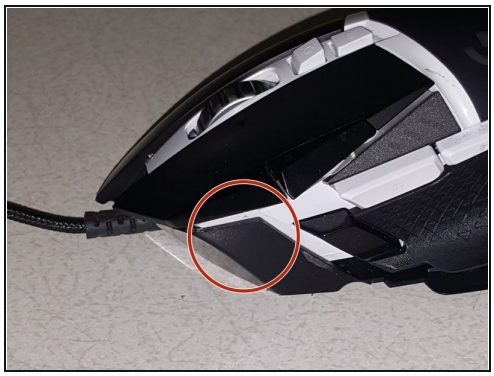


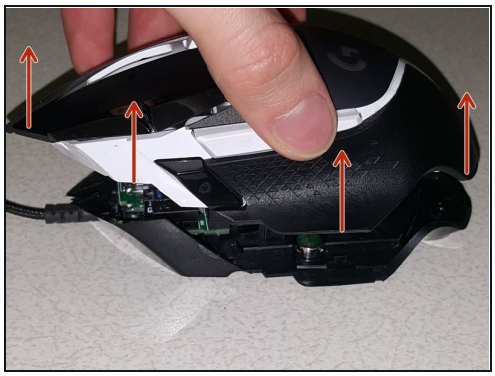
- プラスチック製のスパッジャーの平らな部分を、上下の殻の間に表示されている部分に差し込みます。

ⓘ マウスの2つの殻は、ほとんど力を入れずに完全に分離されます。

⚠ まだ2つの殻を引き離そうとしないでください。

手順 6



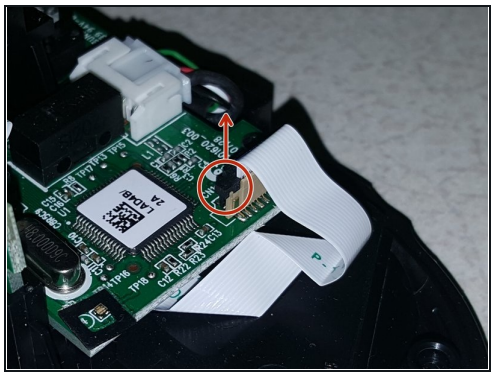
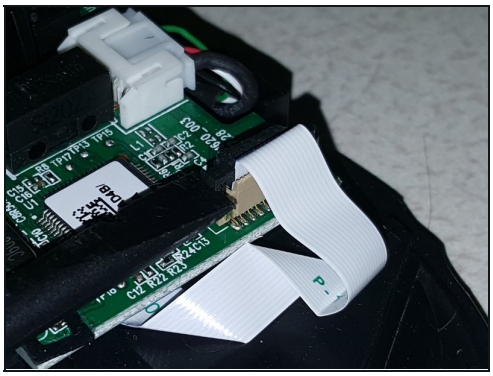


- マウスの左側、左クリックの横にあるトップシェルとボトムシェルの間にプラスチック製スパッジャーの平らな端を差し込みます。

ⓘ 上部シェルと下部シェルが完全に分離し、上部シェルが持ち上がります。

⚠ このとき、2つのシェルを固定しているプラスチック製のクリップを折らないように注意してください。

手順 7 — Heroセンサーの取り外し

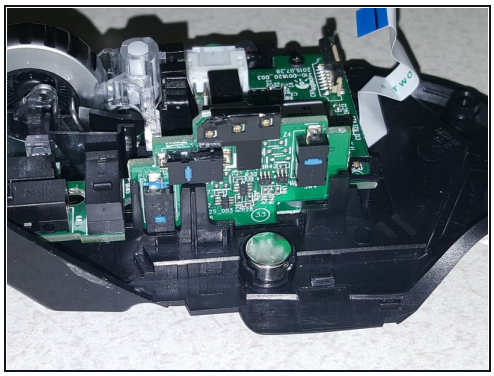
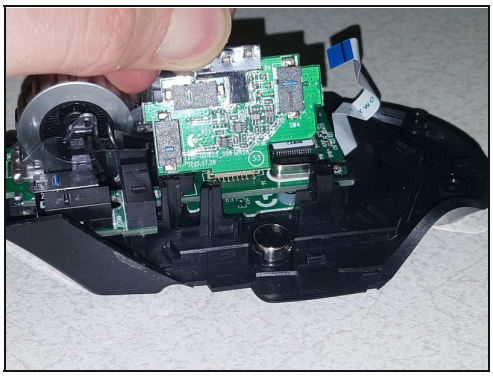
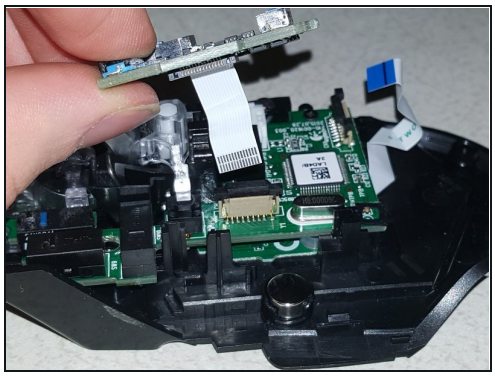



- プラスチック製のスパッガーの平らな部分を使って、リボンケーブルを固定しているロックの両端を注意深く持ち上げます。

ⓘ ロックが解除されると、リボンケーブルは簡単にコネクターから外れます。

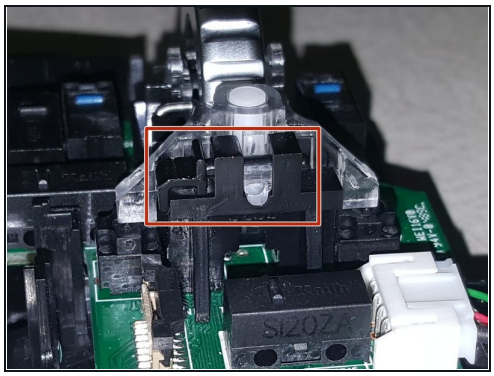
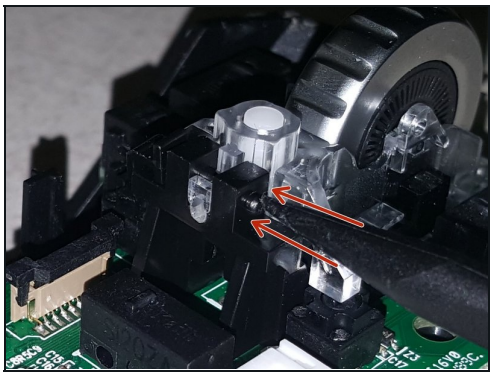
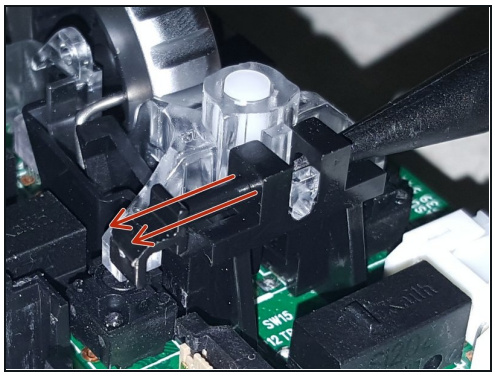
⚠ ロックを外す際に力を入れすぎると、コネクターが破損することがあります。

手順 8 — サイドボタンボードの取り外し

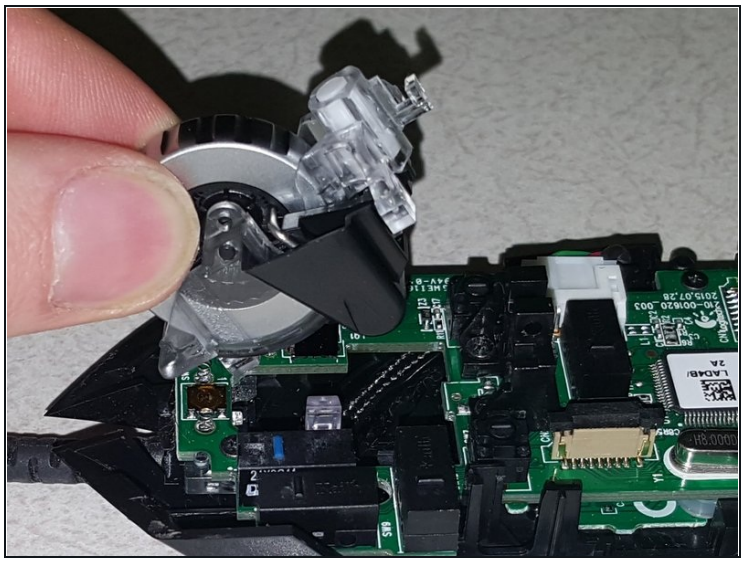
- リボンケーブルコネクターにアクセスするために、サイドボードをまっすぐ引き出して取り外します。
- Heroセンサーのリボンケーブルコネクターと同じ要領で、ケーブルロックを解除してください。
- リボンケーブルをサイドボードと一緒に取り出します。

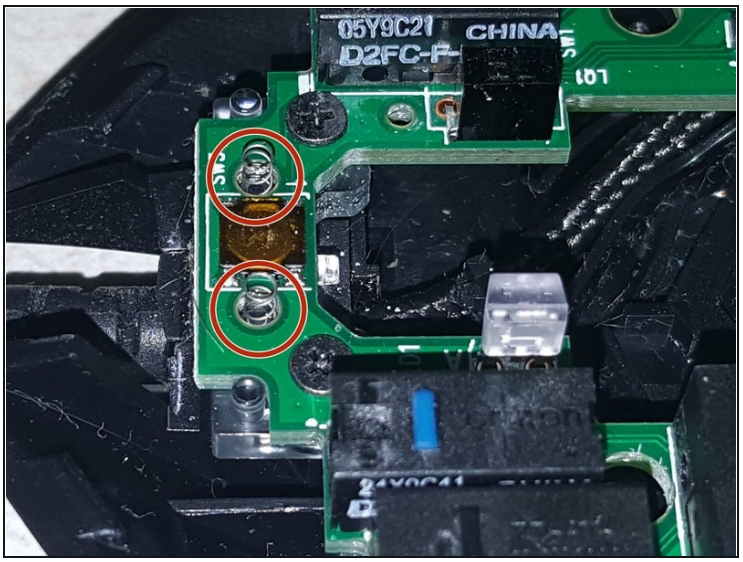
手順 9 — スクロールホイールアセンブリ - Part 1

- スクロールホイールアセンブリは保持バーで固定されています。
- プラスチック製のスパッジャーの先の尖った部分を使い、保持棒を右側から押し出します。
- これができたら、固定バーを取り外すことができます。

手順 10 — Scrollホイールアセンブリ - パート2

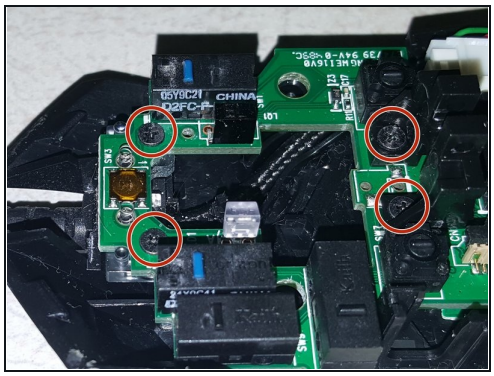


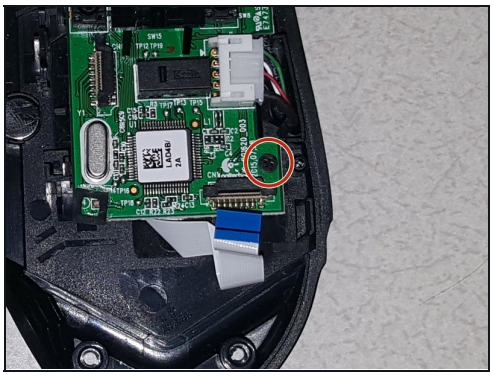


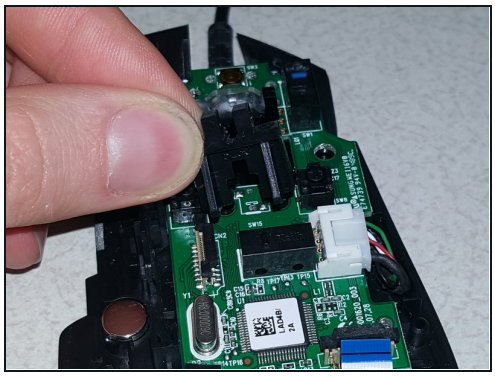
- マウスからスクロールホイールアセンブリを引き抜きます。

⚠ スクロールホイールクリックアクション用の小さなスプリングが2つありますが、これらは非常に小さいので簡単に紛失してしまいます。

手順 11 — メインボードのネジを外す

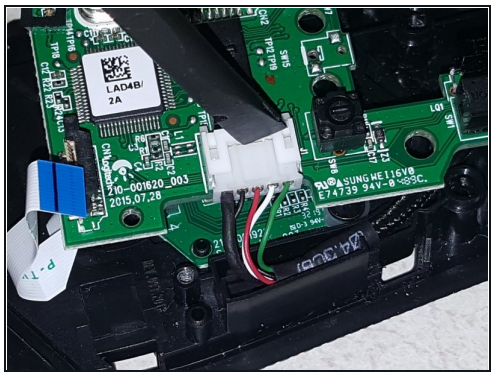
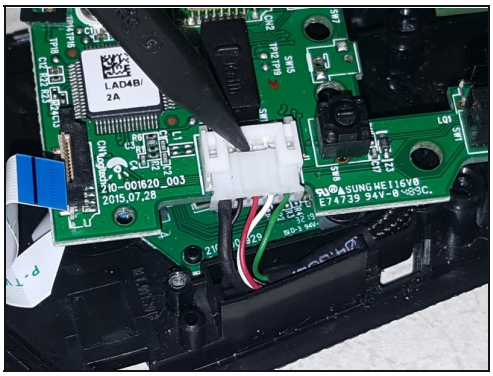
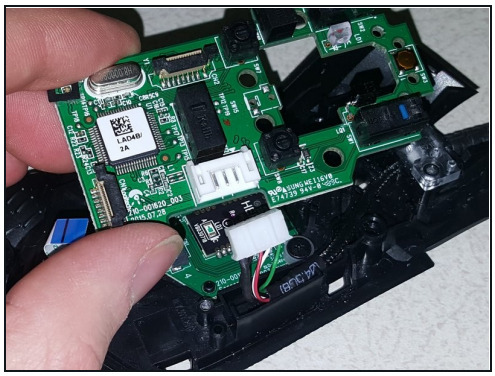






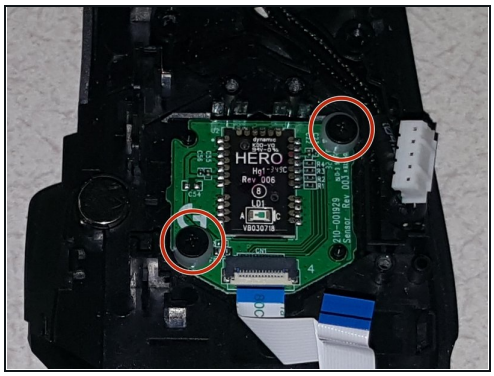
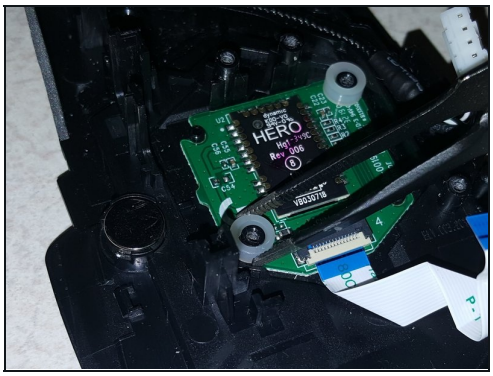
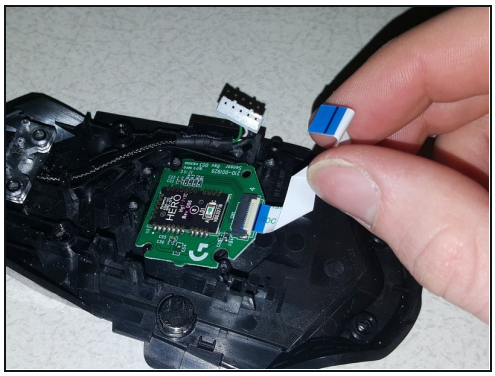
- マウス前面付近のプラスネジ4本を外します。
- Heroセンサー用リボンケーブルプラグ付近のプラスネジを外します。
- スクロールホイールアセンブリ用のクレードルを取り外すことができます。

手順 12 — USBプラグの取り外し

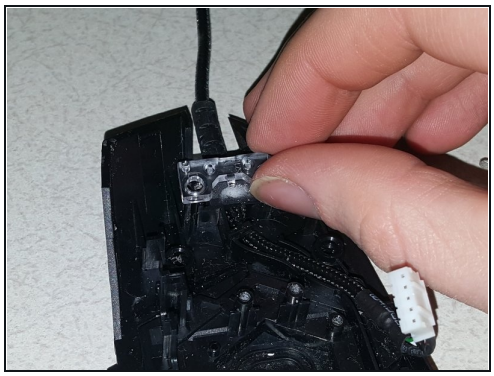
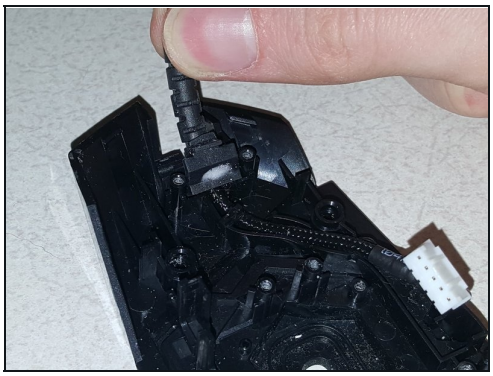
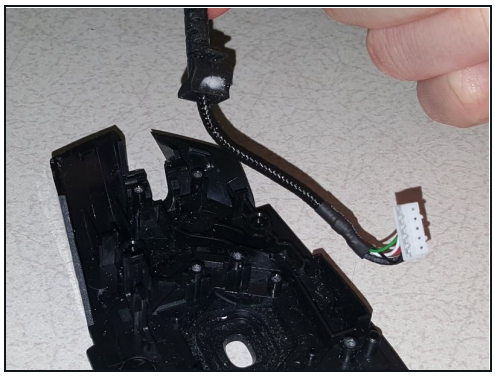
- プラスチック製のスパッガーの平らな方を使って、USBケーブルのプラグのオス側を押し出して、メインボードからUSBケーブルを外します。
- 小さな隙間が十分にできたら、スパッジャーの先の尖った部分でプラグを押し出すことができます。
- マウス底部のシェルからメインボードを取り外します。

手順 13 — Heroセンサーの取り外し

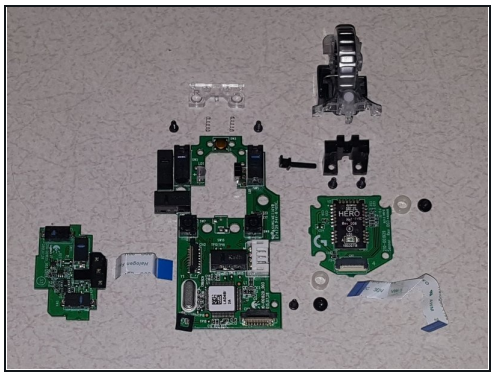
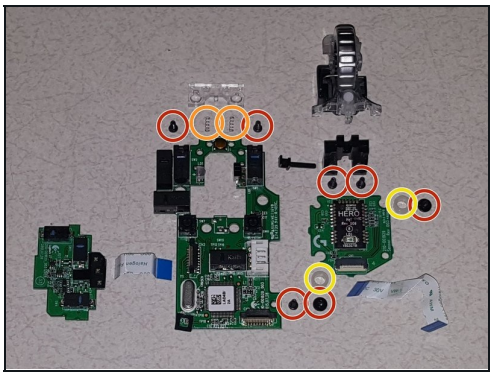
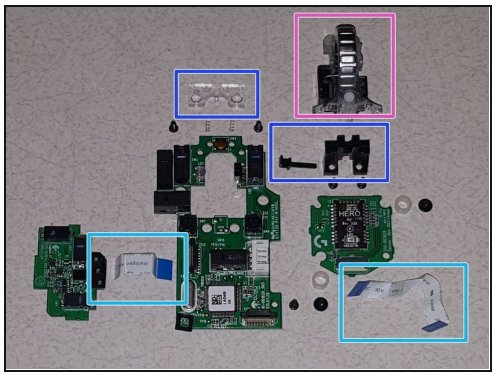
- メインボードを取り外すと、Heroセンサーボードが現れます。
- Heroボードを固定している2つのプラスネジを外します。
- ピンセットを使って、2つのナイロンスペーサーをポストから慎重に取り外します。
- Heroセンサーボードを取り外します。

手順 14 — 底面シェルからUSBケーブルを取り外す

- ケーブルストレスリリースの上にある透明なプラスチック片を外すことから始めます。
- 透明なプラスチック片を取り外すと、ケーブルはストレスリリーバとボトムシェルの部分で取り外すことができます。

手順 15 — 終了

- 参考までに全ての内部部品
- プラスネジ
- スクロールホイールスプリング
- Heroセンサーナイロンスペーサー
- サイドボードとHeroセンサーボードのリボンケーブル
- スクロールホイールアセンブリ
- スクロールホイールクレードルおよびリテイニングバー

必要な部品を交換し、この手順を逆にたどって組み立ててください。